

栄養診療部

■ スタッフ

栄養診療部長	伊藤正明（医師）
栄養診療部副部長	矢野 裕（医師）
栄養診療部副部長	手島 信子（管理栄養士）
管理栄養士	10名（常勤3名非常勤7名）
併任 医師	1名
併任 看護師	1名
併任 薬剤師	1名

■ 特色

患者個々に沿った適切な栄養管理により、疾病の治癒、回復、予防を図るための栄養管理（患者給食、栄養指導等）の様々な業務を行っています。

■ 栄養管理業務

1. 患者給食

患者給食は国によって定められた食事基準に基づいて実施しています。様々な疾病治療の一環であると共に、入院生活を支える楽しみとしての食事となるよう工夫しております。（年間のべ約53万食を提供）

医療の進歩と共に治療食も変化するため、食事内容を定期的に見直し『食事基準の手引き』を改訂します。食事の種類は凡そ200種類あり、複雑な食品の組み合わせや調理工程等に対応しています。

一般的な食事として、朝食はご飯食かパン食の選択、昼夕食については一般食において肉あるいは魚の定食パターン、麺セット、パンセット、寿司の5種類の選択メニューと、化学療法時の生食禁止対応の3種類があります。また、季節を感じる事ができ、患者さんの健康を願う『行事食』の提供を年中行事に合わせて提供しております。日々、給食会社と協力し、安全で衛生的な美味しい食事を提供できるよう心掛けています。

年2回、入院患者さんを対象に食事アンケートを実施し、より良い病院食の提供を目指しています。

また、月1回は栄養診療部運営委員会と給食会社との患者給食業務定例会を開いています。

2. 栄養指導

個人栄養指導

糖尿病、肝疾患、腎疾患、脂質異常症、肥満、高血圧、心疾患、消化管疾患、先天性代謝異常症、癌化学療法、術前術後の栄養管理など、病態を考慮した食事療法を提案しています。入院では病院食に沿った栄養量と食事内容について、外来では個々の生活環境に合った食事療法の実践方法について、患者さんやご家族に指導しています。指導時に体組成や握力の測定を行い、栄養状態の評価と指導のツールとして活用しています。

集団栄養指導

医師、栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の協力により行っています。

- ・両親学級（毎週水曜）
- ・減塩教室（月2回）
- ・糖尿病教室（年6回）
- ・膵がん教室（年4回）
- ・肝臓病教室（年2回）
- ・膵がんグルメディカル教室（年3回）
- ・肝臓病グルメディカル教室（年2回）

両親学級と各教室では、院内外の患者さんとそのご家族を対象に、関係スタッフからの講義と質疑応答を行っております。

グルメディカル教室は、院内外の患者さんとそのご家族を対象に、院内のキッチンスタジオにて、管理栄養士の調理実演、参加者の調理実習と試食会、医師の講義を行っています。

3. チーム医療

病棟担当栄養士制

主担当・副担当の2名体制にて各病棟の栄養管理を行っています。必要に応じて担当病棟の入院診療計画書作成、特別な栄養管理を必要とする患者さんについての栄養管理計画書作成、食事内容や食形態の調整を行い、早期回復・退院に向けて他の医療スタッフと連携し取り組んでいます。

栄養サポートチーム-Nutrition Support Team (NST)-

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、作業療法士、臨床検査技師、歯科医師、事務職員等のメンバーで活動しています。週1回のカンファレンスとラウンド、月1回のNST定例会を開催してい

ます。また、年2回の勉強会を主催し、NST ニュース配信を定期的に行っています。

緩和ケアチーム

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等のメンバーで活動しています。週2回のカンファレンスと、週1回のラウンドに参加しています。

褥瘡対策チームカンファレンス

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務職員等のメンバーで活動しています。週1回のカンファレンスに参加し、月1回の委員会に出席しています。

嚥下障害サポートチーム

医師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、歯科医師、歯科衛生士のメンバーで活動しています。週1回のカンファレンスに参加しています。

心不全リハビリカンファレンス

医師、看護師、管理栄養士、理学療法士のメンバーで活動しています。週1回のカンファレンスに参加しています。

移植チームカンファレンス

医師(精神科、肝胆膵外科、腎泌尿器科等)、移植コーディネーター看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務職員等のメンバーで活動しています。月1回のカンファレンスに参加しています。

4. 実習生の教育

実習生の受け入れ

今年度は、管理栄養士養成校(名古屋経済大学、名古屋文理大学、中部大学、鈴鹿医療科学大学)、栄養士養成校(三重短期大学)より実習生を受け入れました。献立作成や調理作業を通して、大量調理や給食管理について学び、栄養指導やカンファレンスの見学では、実際に患者さんと接することで栄養管理業務を体験できるようにしています。さらに、看護部、薬剤部、検査部、リハビリテーション部、医事課等、他部門の見学や講義を通して、多職種連携の必要性や、病院全体の業務についての理解を深められるようにしています。

また、他部門の実習生に対しては、見学や講義を通して病院の管理栄養士業務について紹介しています。

5. その他

膝がん滅市民公開講座 2018.9.8

“パープルリボンウオーク&セミナー 2018 in 津”

栄養相談ブースにて栄養相談を行いました。また、12F レストラン『四喜折々』作成のパープルパン(栄養診療部レシピ監修)と『平時煎餅本店』作成のパープルせんべいを販売しました。さらに、だしの味覚テストや栄養剤の試飲について協力しました。

三重県慢性腎臓病対策 県民公開講座 2019.2.24

“小さな腎臓があなたの健康を守る”

腎臓病に関する資料提供コーナー、利き塩体験コーナーにて協力しました。

第12回市民公開講座 2019.3.21

“知ってほしいがんの免疫療法について”

会場案内係のボランティアスタッフとして協力しました。

■ 活動実績

1. 患者給食数

一般治療食

290,372食(非加算)

特別治療食

168,061食(加算126,470食、非加算41,591食)

食堂加算

6,492食

選択メニュー提供料金算定件数

36,417食

2. 栄養指導件数

個人栄養指導 一般治療食

6件(非加算 入院3件、外来3件)

個人栄養指導 特別治療食

入院 1,225件(加算1,121件、非加算104件)

外来 3,874件(加算3,736件、非加算138件)

集団栄養指導

入院 156件(加算117件、非加算39件)

外来 287件(加算75件、非加算212件)

3. その他加算

糖尿病透析予防

54 件

栄養サポートチーム加算

901 件

緩和ケア診療加算

319 件

4. 臨床研究等の実績

表彰

手島信子. 平成 30 年度 栄養関係功労者知事表彰
栄養指導業務功労者.

著書

三澤雅子 他. 第 6 章 がん治療における栄養療法の
実際と求められる栄養補助食品 第 6 節 大腸癌患者
の食事に関するトラブル「がん治療で起こる副作
用・合併症の治療法と薬剤開発」(株)技術情報協会
P. 504-508

手島信子 他. 病棟管理栄養士のための臨床検査フ
ァーストガイド 肝炎/肝硬変.臨床栄養 Vol.133
No.4 2018.9(臨時増刊号) p 529-539

原なぎさ 他. 肝疾患患者に対する食事療法の実際.
栄養.3 巻 3 号.ジェフコーポレーション、p211-223

原なぎさ 他. アルコールとメタボリックシンドロ
ーム.臨床栄養.133 巻 6 号.医歯薬出版社、p788-794

学会

原なぎさ 他. 慢性肝疾患における筋痙攣の実態と
身体組成との関係.第 54 回日本肝臓学会総会

服部文菜 他. 腎移植レシピエントに対する栄養療
法.第 34 回腎移植・血管外科研究会

原なぎさ 他. 膵がんグルメディカル教室の継続的
な取り組み.第 49 回日本膵臓学会大会

三澤雅子 他. 強制栄養から十分な食事摂取までの
栄養管理.第 12 回日本静脈経腸栄養学会東海支部学
術集会

酒井真奈 他. 三重県 CKD 県民公開講座にて減塩実
施に寄与する試み 利き塩クイズについて.第 7 回日
本栄養改善学会東海支部会学術総会

原なぎさ 他. 慢性肝疾患における筋痙攣は ECW 率
と関連する.第 22 回日本病態栄養学会

原なぎさ 他. 非アルコール性脂肪性肝疾患におけ
る栄養アセスメントと栄養指導.第 22 回日本病態栄
養学会シンポジウム.

服部文菜 他. 腎移植後患者のサルコペニアに関す
る実態調査.第 22 回日本病態栄養学会

講演

宮村みさ子. 脳卒中予防のための食事-何をどれだ
け食べたらいいか-.2018 年度 第 3 回 三重県医師会
健康教育講演

三澤雅子. 強制栄養から十分な食事摂取までの栄
養管理.第 2 回三重大栄養管理サポートチーム勉強会

宮村みさ子. 栄養士の現場.2018 年度 三重短期大
学キャリア形成セミナー

原なぎさ. 肝疾患患者に対する栄養療法の実際.第
19 回十勝肝臓病懇話会 特別講演.主催:大塚製菓

原なぎさ. Nutritional Analysis and Guidance for
In/Out patient Hospitals.2018 InBody Academia -
Body Composition Analysis in Clinical Nutrition
and Medical Science.

原なぎさ. 肝疾患患者への栄養療法の取組みの工
夫.第 22 回日本病態栄養学会 ランチョンセミナー

三澤雅子. 褥瘡予防と治癒促進のための栄養管理.
平成 30 年度 皮膚排泄ケア院内認定中級コース研修.

三澤雅子. 食事療法.第 42 回糖尿病療養指導士育成
のための講習会.